

2027 宮崎国スポの開催に向け、「ひなた宮崎県総合運動公園」テニスコートの全面改修が必要なため、ハードコートに改修するよう要望しています。

要望する主な理由は下記のとおりです。

- 現在宮崎県内の公共施設のテニスコートは約200面ありますが、ハードコートが1面もない
- 砂入り人工芝と比較しても改修費用に差がない
- 宮崎県の競技力向上のためには欠かせない
- 国際大会、全国大会、合宿誘致（日本代表、車いすテニス、各大学）が可能

現在の砂入り人工芝への改修では今までと変わらないが、宮崎県の競技力向上及び経済効果を考えるとハードコートがよい。

また、足腰の負担を懸念する声がありますが、現在のハードコートはクッション性もありそのような懸念はないと考えます。

※ハードコートは雨天時に使用できないため、今後屋根をつけることも併せて要望を進めていきます。

☆主な全日本大会のサーフェス

大会名	カテゴリー	会場	屋根	サーフェス
全日本選手権	全	有明テニスの森	○	ハードコート
日本リーグ	社会人実業団	東京体育館他	○	ハードコート他
全日本学生選手権	大学	四日市テニスセンター	○	ハードコート
全日本学生王座	大学	有明テニスの森	○	ハードコート
全日本ジュニア	小中高校生	大阪韮テニスセンター	×	ハードコート
		江坂テニスセンター	○	
国民体育大会	少年の部	持ち回り		主にハードコート
	成年の部	持ち回り		主に砂入り人工芝